

「集中治療室における多職種回診の遠隔化による患者転帰ならびに医療スタッフへの影響に関する研究」についてのお知らせ

－令和 1 年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日までに当院集中治療部に入院された患者さん
ならびに同期間内に職場アンケート調査に応じた当院医療スタッフのみなさんへ－

<研究承認番号：M2020-301>

研究機関名 東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野

研究責任者 東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野 講師 野坂宜之

分担研究者（分野長） 東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野 教授 若林健二

1. 研究の意義と目的

本研究の目的は、患者さまの集中治療の一貫として行っている多職種による回診を遠隔実施化したことによる患者さんの転帰、ならびに医療スタッフへの影響を明らかにすることです。COVID19 パンデミックに際して回診方法を抜本的に変更したことによる影響を明確化することで、さらなる改善点の抽出を図り、効果的な回診方法の確立につなげられます。

2. 研究の方法

- 1) 研究対象：**上記の期間に当院集中治療部に入室した患者さんおよそ 2000 名、ならびに上記期間中の職場アンケートに応じた当院医療スタッフおよそ 80 名が対象です。COVID-19 重症患者さんは除きます。
- 2) 研究期間：**東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会承認後～令和 7 年 3 月 31 日
- 3) 研究方法：**従来の多職種による回診を実施した令和 1 年 7 月 1 日から令和 2 年 6 月 30 日までに当院集中治療部に入室した患者さんの転帰と、遠隔多職種回診を実施した令和 2 年 7 月 1 日から令和 3 年 6 月 30 日までに同部に入室した患者さんの転帰を比較し、課題を抽出します。患者さんのカルテから以下の情報を取得します：「患者基本情報：年齢、性別、身長、体重」「病院入退院時：入院日、退院日、退室時転帰」「ICU 入退室時：入室日時、退室日時、入室経路、退室時転帰、入室形式、心肺停止蘇生後、入室区分、入室時気管切開、緊急コール」「主病名」「手術名」「主病名コード」「副病名コード」「慢性疾患」「ICU 在室中の治療」「小児用重症度スコア」「重症度スコア」。本研究のために患者さんに対して新たに実施する検査や診療行為はありません。また、日常の診療の向上のために行っているアンケート調査の結果を経時的に比較、検討し課題を抽出します。
- 4) 情報の保護：**この研究で使用する患者さんのデータはカルテ録から抽出した時点で個人を特定できる情報は削除して大学の方針に従って管理します。当学研究者以外にデータを利用するものではありません。本研究への参加をご希望にならない場合には、その患者さんの情報の利用は停止いたします。その際は下記連絡先で受け付けます。日常の職場アンケートは無記名で行っているため、特定個人のアンケート結果を除外することはできません。なお、収集した情報は東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野にて特定の関係者以外がアクセスできない状態で、研究期間終了後または論文発表後 10 年間厳重に管理し、その後復元不

可能な状態に処理して廃棄します。

- 5) 予測される結果（利益・不利益）について：**本研究に参加していただくことでの直接の利益・不利益はありません。この研究により with コロナ時代にそぐう遠隔化回診の確立が図られ、より良い医療の提供が可能になると考えられます。

3. 利益相反：

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われにくいのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は東京医科歯科大学病院集中治療部の運営費を用いて行われます。患者さんならびに医療スタッフが本研究に負担する費用ならびに本研究に参加することによる謝礼は一切ありません。研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<データ管理責任者・問い合わせ・連絡先>

東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野 〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

氏名：野坂 宜之 電話：03-5803-5959（医局）

対応可能時間帯 平日 9:00-17:00

<苦情窓口> 東京医科歯科大学医学部総務係 03-5803-5096（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）